

学校番号	学校名	校長名
73	川崎市立 鷺沼小学校	小林美代

	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆よく考え工夫する子ども(考える子)</li> <li>◆思いやりがあり美しさを求める子ども(やさしい子)</li> <li>◆めあてをもってやりぬく子ども(やりぬく子)</li> <li>◆すすんで体をきたえる子ども(たくましい子)</li> </ul>	子どもたちが 主体的に 協働して 生活と学びを創り上げる学校 ～自分たちの力で よりよい生活や学びを創り出そう～ ●主体性を大切にし、一人一人が輝く学校 ●自らの課題を解決し学び合いを大切にする学校 ●違いを認め合い、安心して過ごせる学校 ●保護者や地域とともに歩む、開かれた学校

	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
<b>A部会</b> Will1 主体的な活動を通して互いに認め合う集団づくり	①学級づくり・学年づくりを意識させ、子どもの創意工夫を生かした取り組みを充実させる。	○学年目標や学級目標の決定については子供たちの思いをくみ取りながら作成した。 ○様々な活動を行う際には、常に目標を意識しながら行うことができた。	
	②異学年・学年間交流を行事や学習を通して実施し互いの活動を見合う場を設定する。	○運動会、合同朝会で異学年交流を行うことができた。 ○交流回数には限りがあるため、関わりをあまりもてない学年がでてしまった。	・学年交流の回数等をまとめ、次年度以降の活動の参考になるような資料を作成し、交流のタイミングを各学年で計画できるようにする。 ・提案内容の中に「異学年交流」について記載し、行事等でも意識してもらえるようにする。
	③委員会活動やクラブ活動を見通しをもって創意工夫し、発表WEEKを活用する。	○成果発表を行事予定に位置づけ、年度初めから見通しをもって計画を立てられるようにした。 ○クラブ委員会の活動では、児童の発意発想を大切にしながら指導することができた。 ○発表WEEKの運営方法をさらに学校全体で検討したい。	・年度初めの計画では、活動だけで終わるのではなく、成果発表も視野に入れながら計画を立てられるように学校全体で周知していく。
	④キャリア・パスポートを活用しながら自己有用感を高める。	○学校全体でキャリア・パスポートにはさむ内容を決め、全学年で実施することができた。 ○「蓄積」することはできているが、「活用」まではできていない部分もあるので、次年度以降考えたい。	「活用」については、例えば「めあてを書いて終わり」にするのではなく、これまでの「蓄積」を実際に見返しながら、今年度の活動にどのように取り組むのかなど、活用できるタイミングを全体に提案する。
<b>B部会</b> Will2 主体的に、学び合う楽しさを実感できる学習づくり	①カリキュラムマネジメントの観点から年間指導計画を見直し学習環境の整備を図る。	○時期を検討し、他教科や行事とうまく繋げてカリキュラムを作ることができた。学習環境の整備として、地域人材と深く関わることができた。 ○実際に授業を進める中で予定外のことなどがあり、カリキュラム通りにいかないこともあった。	カリキュラムを作成する際は、分岐点、いくつかの案やプランを検討する必要がある。前年度の情報をできるだけ詳細に引き継ぐ。
	②各教科における思考力・判断力・表現力・発表力の向上と、言語活動の充実を図る。	○低学年の生活科においては、国語との繋がりが深い。言語活動と並行して生活科が進み、相互に高めることができている。総合では、関わりの中で学んだことを取り入れることが上手になった。 ○各教科との連携や活かし方を検討できると良い。	①と同様に事前にもっとカリキュラムを練れるといい。次年度に向けたカリキュラム検討を年度内に行っていく。
	③自らの課題を解決していく学びを継続し、学び合う楽しさを実感できる授業を行う。	○各教科において、自分の学び方をデザインできるよう指導を工夫してきた。内容の振り返り、学び方の振り返り、を実施して自らの学び方を学んだ。 ○自分の課題を見つけることは、ハードルが高くかなり難しい。学びのサイクルを作るには教師の介入が必要。	中学年で教師が課題に気づかせるようにした授業をすることで、高学年で自分の課題を追究できるようになる。習うのでなく自ら学ぶ意識の変化と、その方法を教師側が意識して授業を行っていく。
	④校内研究を充実させ授業力向上を図る。	○総合的な学習や生活科の捉え方や理解が深まっている。授業力の向上ということに繋がっている実感はある。	
<b>C部会</b> Will3 自他を尊重し、安心して過ごせる居場所と生活づくり	① いじめ・不登校の未然防止や教育相談体制の充実を図り、安心して過ごせる居場所づくりを行う	○職員研修や会議を重ね、「小さな兆しを探知し声をかける」「共感的に話を受け止める」ことを心がけ、児童理解に努めてきた。また、年間2回の児童アンケートを基に、児童全員との面談を行い、子どもたちの思いを受け止めて対応できた。	
	② 人権尊重教育を基盤とし児童理解・児童指導、支援教育等の充実を図り、全教職員で児童を見守ると共に情報共有を行う。	○発達段階に合わせて交換授業を実施したり、相談ボックスを設置して支援教育コーディネーターが児童面談を行うなど、教職員全体で子どもたちを見守る体制づくりをしてきた。学校アンケートでは、児童の90%以上が、学校の中に話を聞いてくれる大人がいると答えていた。しかし、一方で相談できな児童がいることも受け止める必要がある。	より相談できる環境づくりを整えるために、引き継ぎを丁寧に行い、担任との信頼関係づくりを4月から行っていきたい。また、学年の教員全員で子どもたちを見守り、多くの大人で子どもたちを見ていく。相談してよかったと子どもたちが実感できるように、子どもたちの思いを受け止めながら解決方法を一緒に考えていく体制を考えていきたい。
	③ 「みんなの約束」などルール作りを子どもたちと共に行いブラッシュアップさせていく。	○子どもたちの声を受けて、室内遊びの道具を増やした。  ○「みんなの約束」のふりかえりを行うことができなかった。	児童会と連携をし、年間の計画の中に「みんなの約束」を振り返ることを明記する。
	④ 生活目標や自らをふり返り、学習や生活習慣を自己修正しながらよりよい生活を創る。	○子どもたちの現状で気になる様子を共有し、朝会や学年での集まり、学級内で統一した指導をすることができた。 ○生活目標が形骸化し、児童個人のめあてとふりかえりにつなげることができないところがあった。	子どもたち自身が自分たちの姿を振り返ることができるように、学年に合わせた生活のふりかえりシートを作成する。

<b>D部会</b> Will4 保護者や地域とともに歩む、開かれた学校づくり	① 地域の人・ことものに關心をもち、保護者・地域の方など多様な人とかわわりを大切にした教育活動を充実させる。	○総合的な学習で驚沼商店会、地域のお店の方々と関わる機会が増え、学習と関連させながら取り組むことができた。お年寄りや幼保の交流、地域のお祭りに参加した。 ○地域の人達との関わりや結びつきを今年度だけではなく、来年度にも繋げていってほしい。	各学年で今年度関わった地域の人達の引き継ぎを行う。
	②安心・安全な学校生活が送れるように、地域と連携した防災・防犯、緊急対応等の体制を整える。	○児童は、一時避難の仕方についてきている。シェイクアウトや予告無し訓練の成果が見られた。 ○職員は、地域の防災訓練に参加し、緊急時の対応について共有してきた。今後は児童と地域の関わりも注視していきたい。	児童に地域の防災訓練があることを学習や避難訓練時と関連させて伝えていく。地域の人達をゲストティーチャーとして招いてお話していただく。
	③学校運営協議会、地域教育会議、小中連携教育、幼保小連携の機会を活かし連携を図る。	○職員間で児童や学校の実態を共有することができた。 ○小中連携では、今後どのように生かされていくのかが見えにくい部分もあるので、検討していきたい。	本来のねらいを明確にし、共有し合ったことを次年度につなげる。次年度の会場校に、今回の議事録を引き継ぐ。
	④防災訓練をはじめ教育活動の公開、学校ホームページ、各種便りの内容の充実に努め、積極的に情報の発信を行う。	○ホームページで学習の様子や防災の様子を発信することができた。 ○防災訓練のねらいや様子をもっと発信していきたい。	来年度、防災訓練や登下校の様子について発信し、家庭との協力を図る。
<b>G部会</b> GIGAスクール構想に基づき、端末を活用した学習の充実と安全に利用するための体制づくり	① 端末を活用した学習の充実を図ると共に、学年間での共有、系統性をもった活用法をより充実させていく。	○高学年が、これまでの活用経験から、目的に応じた活用方法を選べる場面が増えてきた。 例) 4年生で動画編集の技術を学ぶ→5年生で委員会の動画を編集する。など ○総合的な学習などその年のみで扱える力があるため、継続的に力を付けさせられる方法を考えていきたい。	以前は学校裁量でとれていた部分もあるので、来年度は学校どうやって時間をとっていくのかを考えていきたい。 (来年度は、G部会の教員を中心に各教科との連携を図り方を考えていく。)
	②安全に利用するための情報リテラシー教育と本校でのルールを明確にし、全児童に共有していく。学年に応じて外部講師を依頼するなどし、安全性について学ぶ機会を	○ほとんどの学年で、外部機関による情報リテラシー教育を設定し、実施することができた。 ○来年度は早めに計画をしていきたい。	年度途中(夏)にリテラシー授業について実施したが、計画が遅かったため来年度は計画的に、全学年で実施できるようにしたい。
	③機器の適正な管理と他校や全市の情報を取り入れながら、より効果的な使い方を研修していく。	○情報のアップデートが早いいため、今年度は新しい技術の研修が追いついていなかった。	今年度はICT支援員を中心に行っていたが、来年度は情報視聴覚センターの研修も活用し、職員研修の機会を増やしていきたい。
	④端末の使い方や活用法を、学習参観、懇談会、学年だよりなどを通じ保護者に公開していく。	○90%近くの保護者から肯定的な意見になっているため、ある程度理解を得られていることが分かった。 ○保護者アンケートの結果が横ばいになっていた。	学校公開日など、全学級一回は、GIGAを活用している場面を見てもらうようにする。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>・子どもが主体的に動けるのは安心して発言、行動できる環境があるからこそだと思う。児童会の代表児童から、総合的な学習の時間に「学年でなく学校全体で取り組む機会がほしい」という意見が出たり、学校のルールを見直そうとしたりする児童会の姿は大変素晴らしく、今まで継続してきた成果ではないかと思う。</p> <p>・Will2の反省にある「自分の課題を解決していく学び」については大人でも一人で行うのは難しい。児童の性格も考慮して、担任一人だけでなく様々な大人が関れると良い。</p> <p>・相談ボックスの活用はとても良いと思う。相談数が多いことは気軽に相談しやすい学校と、ポジティブに捉えてほしい。</p> <p>・トラブルがあった際にも、解決をしていくことが大切だと思う。</p> <p>・予告なし避難訓練を実施した際に、図書ボランティアで学校にいた保護者も気が引き締まる思いで参加する良い機会だった。継続して中休みの避難訓練は実施してほしい。</p> <p>・情報リテラシーを学ぶのは早ければ早いほど良いので、低学年からしっかりと考えさせたい。PCを使っの学びも大切だが書くこと・読むこともとても大切。自身の考えを整理して「書く」、物語を「読む」ことで感情の機微が表れる。高学年になればなるほど本離れが進んでしまうが、良い方策を考えたい。</p> <p>・教職員たちの意欲の高まりを次年度にどう引き継いでいくかが大切だと思う。教職員同士のかかわりは非常に重要で、些細なことでも先輩が伝えていく必要がある。</p> <p>・次年度も学校として「絶対に譲れない」ところを大事にして学校運営を行ってほしい。職員一人一人がこの視点に立って、学校として大事なものを守り、より良い学校づくりをしてほしい。</p> <p>・保護者向けのGIGA端末講座などがあると、GIGA端末について、保護者も理解が及ばない部分が少し解消されると思う。保護者、PTAとして協力できる部分は協力していきたい。</p> <p>・地域とのつながり、学習の中での企画など、保護者やPTAに対しても必要に応じて公開してほしい。PTAが学校と協力していく必要性を感じている。</p>	<p>○学年目標や学級目標を子供たちの意見を汲みながら作成したが、常に振り返るよりどころとして活用することができた。キャリアパスポートも年間を通して記録してきたが、蓄積された記録をどのように活かしていくのか子どもたちが実感としてとらえられるようにしていきたいと思う。</p> <p>○一年間大切にしてきた主体的な活動、主体的な学びが、成果としてあらわれてきているように感じる。生活科や総合的な学習の時間で自ら課題を見つけ、課題解決に向けた情報収集や整理分析を行って自分なりの考え方を導く学び方は、今後他の教科でも活かしていきたい。</p> <p>○自他を尊重し、学校が安心して過ごせる場所になるよう職員研修を重ねてきた。児童も保護者も、「学校は相談しやすいところ」と感じる人が少しずつ増えてきたように感じる。担任だけでなく学年の教諭など、多くの職員が児童と関わり、理解していくことで信頼される学校を今後も作ってきたい。</p> <p>○地域との連携が学習の面ではかなり進んできた。地域から材を集めて学ぶスタイルが定着しつつある。地域の中での安全、地域防災に関して、もっと関心がもてるように、指導を継続したい。</p> <p>○GIGA端末は学習を進めるにあたってなくてはならないものだが、「書くこと」「読むこと」も大切にあると感じている。次年度は計画をしていきたい。</p> <p>○職員同士の連携は今後も重要な課題である。一人一人が向上心をもち、よりよい学校運営を行えるよう、全職員学校教育目標の達成に向け、共通理解を図りながら進めていきたい。</p> <p>○児童の個人情報を守りつつ、保護者や地域に学校の活動を発信できる方法を探っていきたい。</p>